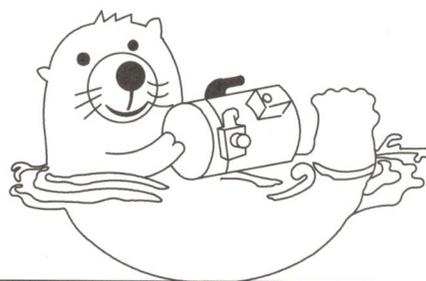


# KYOWA JET CLEANER

## キヨーワ洗浄ポンプ



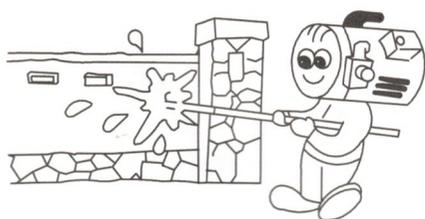
### 取扱説明書

#### KYC-20A/KYC-40A共通

このたびは、当社製品KYC-20A/KYC-40Aをお買い上げ頂きありがとうございます。  
製品がお手元に届きましたら直ちに次の点を確認してください。

- ・機種は、ご注文通りのものか・・・・・・・・
- ・輸送の事故で、破損していないかどうか・・・・・・・・
- ・付属品が全部そろっているかどうか・・・・・・・・

もしも、不具合な点がありましたら、ご注文先、又は弊社営業所へお知らせください。  
ご使用前には必ずお読みください。



未来の技術を拓く世界の

 株式会社 **キヨーワ**

本社・工場 大阪市鶴見区緑1丁目17番15号  
〒538-0054 Tel (06)-6933-8585(代)

Fax (06)-6931-7030 番

東京営業所 東京都大田区東馬込2丁目19-5  
〒143-0022 Tel (03)-5743-6001 番

Fax (03)-3771-7779 番

キヨーワ九州  
〒811-1361

南九州キヨーワ  
〒891-0108

福岡市南区西長住2-19-5  
Tel (092)-512-5304 番

Fax (092)-512-1599 番

鹿児島市中山町2-19-1  
Tel (099)-260-1220 番

Fax (099)-260-0084 番

## (目 次)

・ 安全上の注意	1
・ 作業前の注意事項及び服装	2
・ 梱包部品の内容及び仕様	3
・ 各部の名前と付属品・ノズルの使用方法 (KYC-20A)	4
・ 運転準備 (KYC-20A)	5
・ 運 転 (KYC-20A)	5
・ 作業開始 (KYC-20A)	5
・ 整備のしかた (KYC-20A)	6
・ プランジャー及びコンロッドの分解 (KYC-20A)	7
・ 各部の名前と付属品・ノズルの使用方法 (KYC-40A)	8
・ 運転準備 (KYC-40A)	9
・ 運 転 (KYC-40A)	9
・ 作業開始 (KYC-40A)	9
・ 整備のしかた (KYC-40A)	10
・ プランジャー及びコンロッドの分解 (KYC-40A)	11
・ 不調診断と対策	12
・ 不調時の対策 (抜粋)	13
・ パーツリスト (KYC-20A)	14
・ パーツリスト (KYC-40A)	15

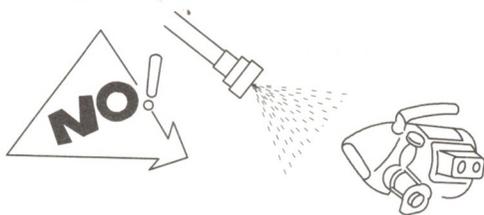
# 安全上のご注意

安全上の注意事項 **必ずお守りください。**

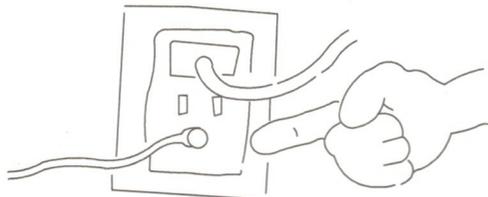
## 据えつけの時

### 警告

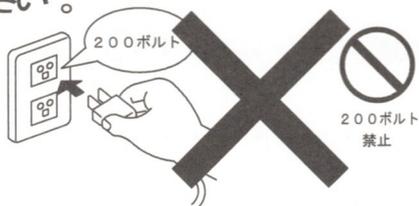
- 水のかかるところに置かないでください。  
感電や漏電の原因になります。



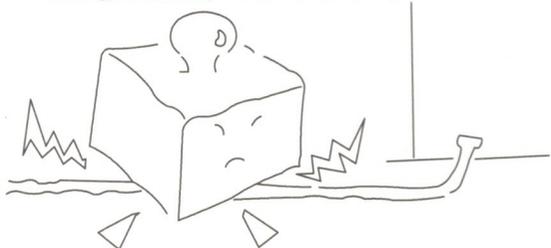
- 感電事故防止のため、アース線の接続をしてください。



- この機械は交流100V専用です。  
交流200Vは絶対に使用しないでください。



- 電源コードを傷つけたり、無理な力を加えないでください。  
電源コードが破損すると、火災や感電の原因になります。



## 使用する時

### 危険

- 本体に水をかけないでください。  
漏電や火災になる恐れがあります。



### 警告

- 長期間使用しないときやお手入れのときは、電源プラグを抜いてください。  
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず、先端の電源プラグを持って抜いてください。  
電源コードが傷み、感電や火災の原因になります。



- 修理技術者以外の方は分解しないでください。  
火災・感電・ケガの原因になります。





# 作業前にこれだけは守りましょう

①心身共に健康ですか。こんな人は、作業してはいけません。

(作業に神経を集中できる体質でないとき、体調不良のとき)

◎酒気を帯びた人

◎妊娠している人

◎15歳未満の人

◎負傷中の人

◎過労、病気、農薬を含む薬物の影響、その他の理由により、正常な作業ができない人



②作業に適した服装をします。

身体にあったものを  
着用する散布作業者

こんな服装は事故の  
原因になります。

禁止

帽子

保護メガネ

保護マスク

耳栓 (騒音作業)

保護衣  
(袖口スッキリ)

保護ゴム手袋

作業靴  
(長靴)



くわえタバコ

首まきタオル

袖口

す手

腰タオル

すそ

す足

サンダル

保護具はつねに正常な機能を有するよう、点検・整備を行い、正しく使用してください。

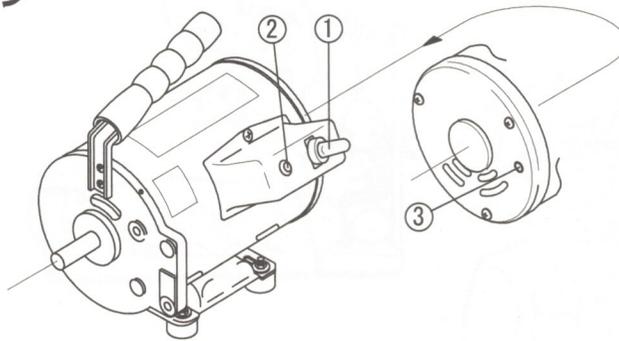
※ 各接続部のネジ山に注意してください。(指先などをケガする恐れがあります。)

騒音が大きい場合はイヤマフ又は耳栓を着用します。

## モーターの「ON」-「OFF」スイッチと過負荷保護器

### リセットボタン復帰式

- ① 電源スイッチ
- ② パイロットランプ
- ③ リセットボタン



### 梱包部品の内容

梱包コンテナ内の部品は次の通りです。

1	ポンプ（モーター直結型）	1
2	吸水ホース	1
3	オーバーフローホース	1
4	ストレーナー	1
5	高圧ホース	1
6	ノズル1式 KYC-20A=ユニバ-サルノズル又は左官ノズル KYC-40A=S-ノズル（Ⅱ）又はM-ノズル	1
7	梱包コンテナ（水槽兼用）	1

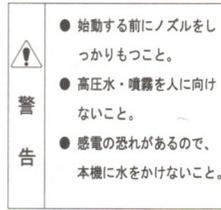
### 仕様

型式	項目	最高圧力	シリンダ径×ストローク	シリンダ数	回転数 (rpm)		吸水量L/min	定格電圧	定格電流
KYC-20A	3.5 MPa (常圧 3Mpa)	φ25×4mm	1	50 Hz	1440	2.82	AC 100V	5.6A	
				60 Hz	1710	3.35		5.0A	
2			50 Hz	1430	5.65	9.0A			
			60 Hz	1730	6.80	8.0A			

# 警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルはご購入先に注文してください。

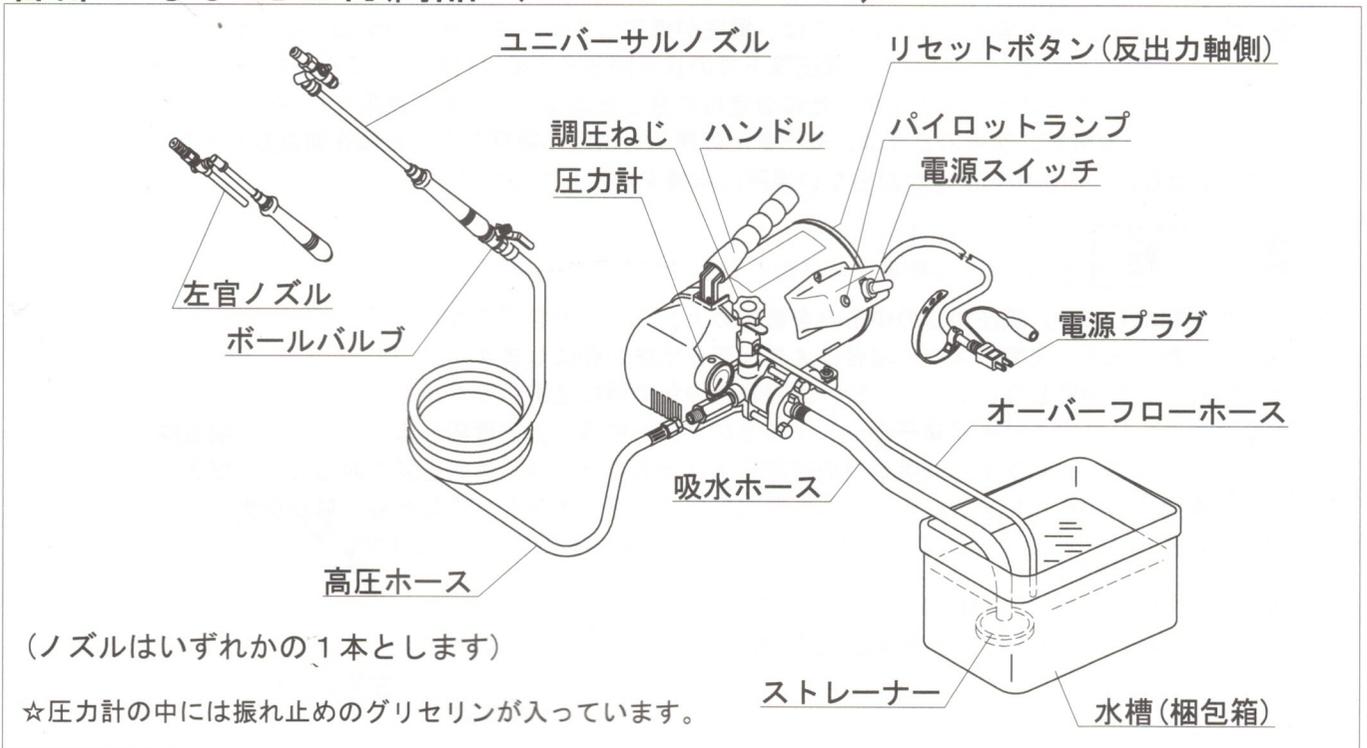


警告ラベル-1

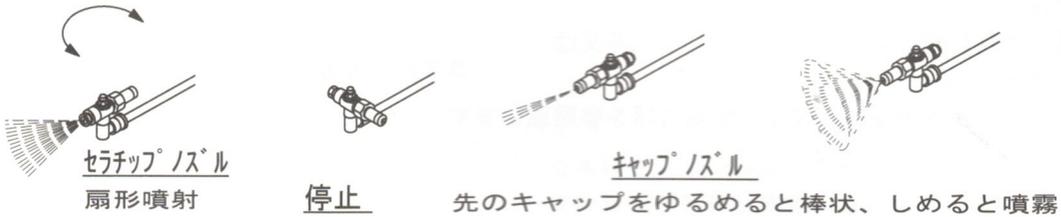


警告ラベル-2

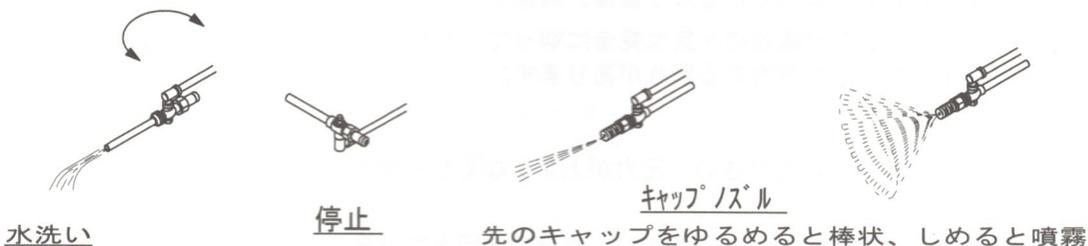
## 各部のなまえと付属品 (KYC-20A) ※仕様により付属品が異なる場合があります



### ユニバーサルノズルの説明

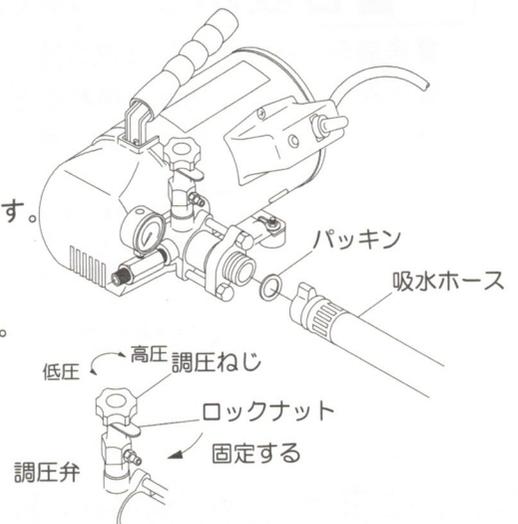


### 左官ノズルの説明



## 運転準備

1. 吸水ホース、オーバーフローホース、高圧ホースを取り付けます。（4ページの説明図参照）  
吸水ホース、高圧ホースはパッキンの有無を確認の上、水漏れや空気を吸わないよう確実に締め付けてください。  
オーバーフローホースは接続部に差込みます。  
高圧ホースの先にノズルをとりつけます。
2. ポンプの調圧ねじを左に廻し、ゆるめておきます。  
始動時にポンプが即座に加圧しないようにするための作業です。  
又、加圧してありますとモーターが始動しない時があります。
3. 吸水ホース（ストレーナー付）及びオーバーフローホースを水槽にいれます。両ホースをバンド等で固定してください。
4. 水槽はきれいにし、且つ使用水は清水を入れてください。
5. 電源コードをコンセントに差し込み、必ずアースを接続してください。  
パイロットランプの点灯により通電が確認できます。



- 注意**
- ・延長コード等をご使用のときは、電圧が低下します。モーターが焼損するおそれがありますのでご注意ください。（電圧降下での長時間連続運転は行わないでください）
  - ・圧力を下げて使用するか、仕様の定格に合った延長コードをご使用ください。
  - ・発電機をご使用のときは、モーターの標示を確認し容量の合った物を使用してください。
6. 雨または噴霧、洗浄水の飛散がかからない場所に本機を設置してください。

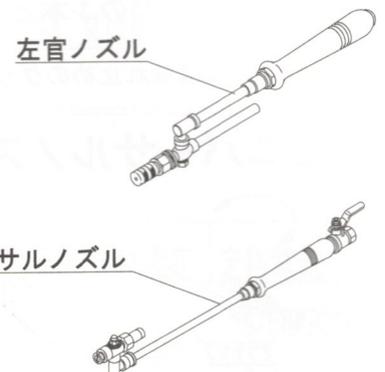
## 運転

1. ノズルを開にします。調圧ねじのゆるみを確認の上、スイッチを「ON」にして始動します。左官ノズルの場合はノズル部を水洗い側にします。  
加圧状態にして始動しないこと。（モーター焼損防止のため特に注意してください）
2. ポンプを運転してオーバーフローホースより水が水槽へ戻ることを確認します。戻らない場合は、スイッチを「OFF」にします。（ポンプの空運転はさけること）不調診断を見て対応してください。
3. ノズルを閉じて調圧ねじを右に廻し圧力を設定します。圧力が定まりましたら、ロックナットにて調圧ねじをロックします。左官ノズルの場合はノズル部を停止の位置にします。

- 注意** 加圧状態にて始動しないでください。  
スイッチを入れるときは必ず調圧ねじをゆるめてください。

## 作業開始

1. ノズルを開きます。  
左官の場合は噴霧にします。  
水は勢いよく噴出されこのエネルギーを利用して洗浄又は噴霧作業を行います。  
ノズルの使用方法は、4ページのノズルの説明の項を参照願います。



## 作業終了

1. 吸水ストレーナーを空中に上げ、ホース・ノズル・ポンプ内の水抜きをします。冬季の凍結防止のために実施します。
2. ポンプの手入れをして次回の作業が円滑にできるよう整備、清掃を行います。
3. ケースに保管されるときは、ポンプと付属品の水気は完全に切ってください。  
※ 結露及び残水により、モーター一部が漏電する恐れがあります。

**注意**

1. 清水に微粒子の混入の無いようにご注意ください。圧力が上がらなくなります。
2. 冬季の凍結に注意してください。
3. ホースジョイント（部品No. 36）はふさがないでください。故障の原因となります。

# 整備のしかた

(KYC-20A)

## 吸水弁の分解整備

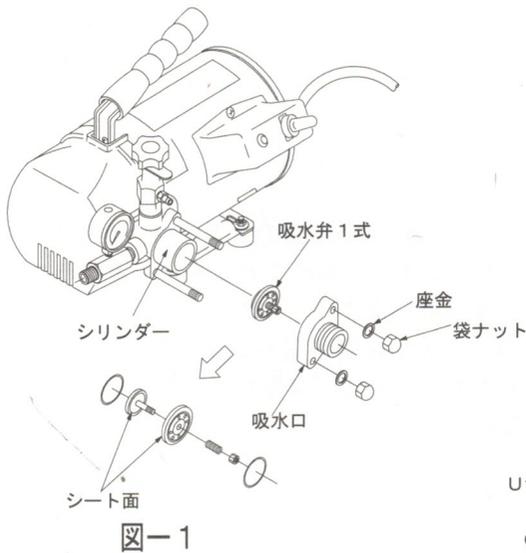


図-1

1. 吸水口前面の2コの袋ナットをはずして、吸水口と吸水弁1式を取り外してください。
2. 吸水弁内部にゴミ等が噛んでいる時は除去し、弁・弁座のシート面にキズや摩耗があれば、新品と取り替えてください。
3. 吸水弁1式は図-1の様に分解できます。
4. 吸水弁を組立てた時、図-2の様に指で開閉し、リフトを点検してください。

**注意** Uナット (M5) は必ず下図の様に止めツメのない面から入れてください。

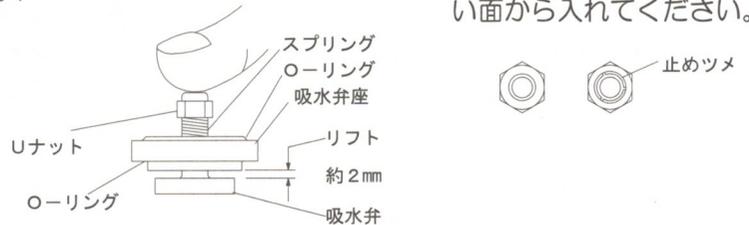
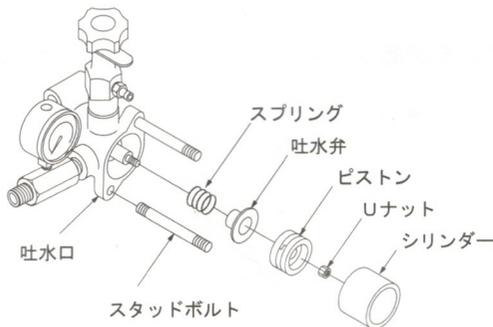


図-2

## シリンダー・ピストン・吐水弁の分解整備

シリンダーを引き抜いてください。ピストンが露出します。ピストン中央部のUナット (M6) を外し次にピストン・吐水弁を順番に外します。シリンダー内面、ピストンと吐水弁のシート面にキズや摩耗等がないか確認してください。シリンダーの内面にキズがある場合は図-3を参照して新品と交換してください。



ピストンの溝に入っているピストンパッキンは下図のように外してください。

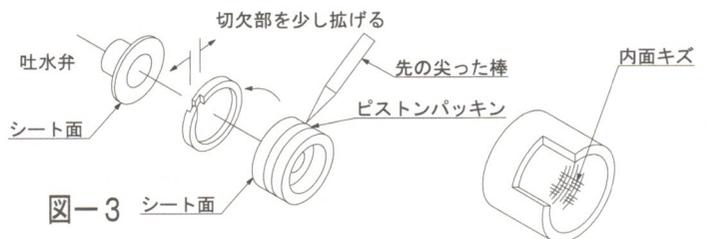


図-3

先の尖った物でピストンパッキンのスリット部を拡げて取り外してください。取り付けする場合はスリット部を少し拡げ、ピストンの溝にはめ込みパッキンの周囲を指で押さえ込んでください。(図-3参照)

(注) パッキンを拡げすぎないでください。

## 吐水口の分解・Uパッキンの整備

ポンプカバーを外し、吐水口の2本の取り付けボルト (M8) をモーターより取り外し吐水口をプランジャーから引き抜き、ガイドリング・Oリング・スペーサーリングを外します。Uパッキン交換の装着時リップの方向に注意してください。(図-1~図-4参照)

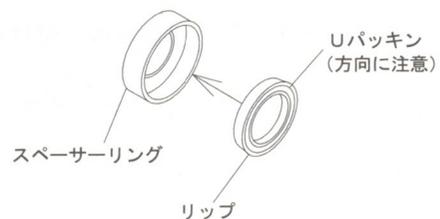
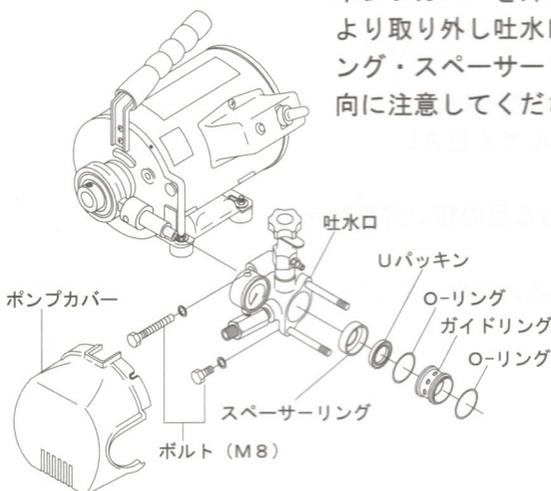
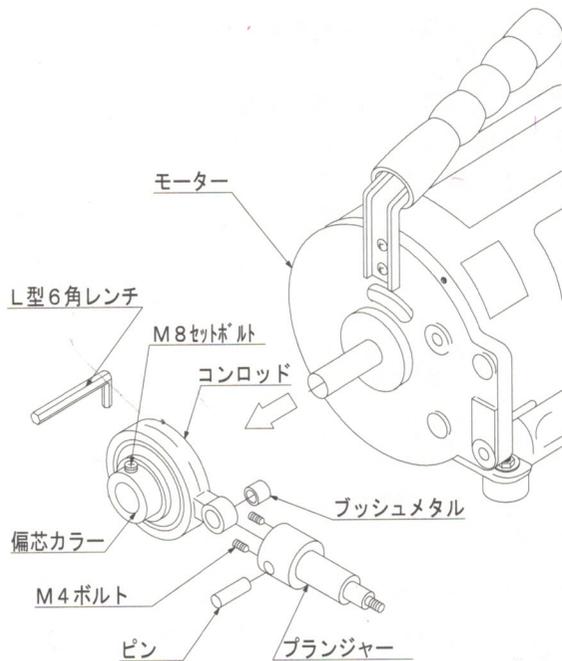


図-4

## プランジャー及びコンロッドの分解

1. モーター側に残ったプランジャーとコンロッドはピンによって連結しています。M8セットボルトをレンチでゆるめてモーター軸から外してください。



2. プランジャーの大径端面の2本のM4セットボルトをレンチでゆるめてピンを抜くとプランジャーは分離します。
3. コンロッドの小端側のプッシュメタルが摩耗しピンと、ガタがあれば交換してください。(下図参照)



図-5

## 調圧弁の分解と点検整備

吐水口上部にある調圧弁は内部のバルブシートとバルブにゴミがあったり摩耗してきますと圧力が上がらなくなりますので、分解し洗浄又は交換してください。

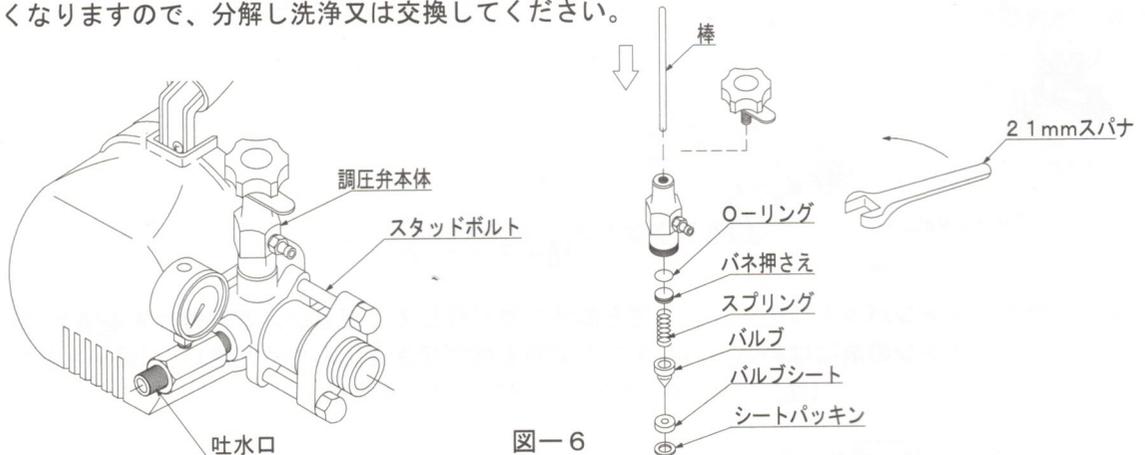


図-6

調圧弁をポンプ吐水口より外し上部の調圧ねじを外しねじ穴よりφ4~5程度の棒状の物で押し内部の部品は外せます。調圧弁をポンプ本体より外した時、シートパッキン・バルブシートはポンプ本体側に残ります。

バルブとバルブシートに摩耗やキズがないか確認してください。  
バルブシートは裏表が使用できます。裏返して組み込んでください。

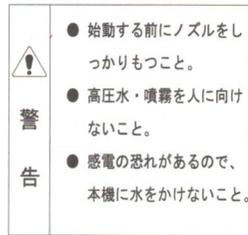
(注) スタッドボルトを外し再び取り付ける場合はねじ足の短い方を吐水口にに入れてください。(図-3参照)

摩耗のおびたパッキン類や弁、ベアリングは新品と交換してください。ページ14のパーツリストで部品番号を調べてください。

# 警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルはご購入先に注文してください。



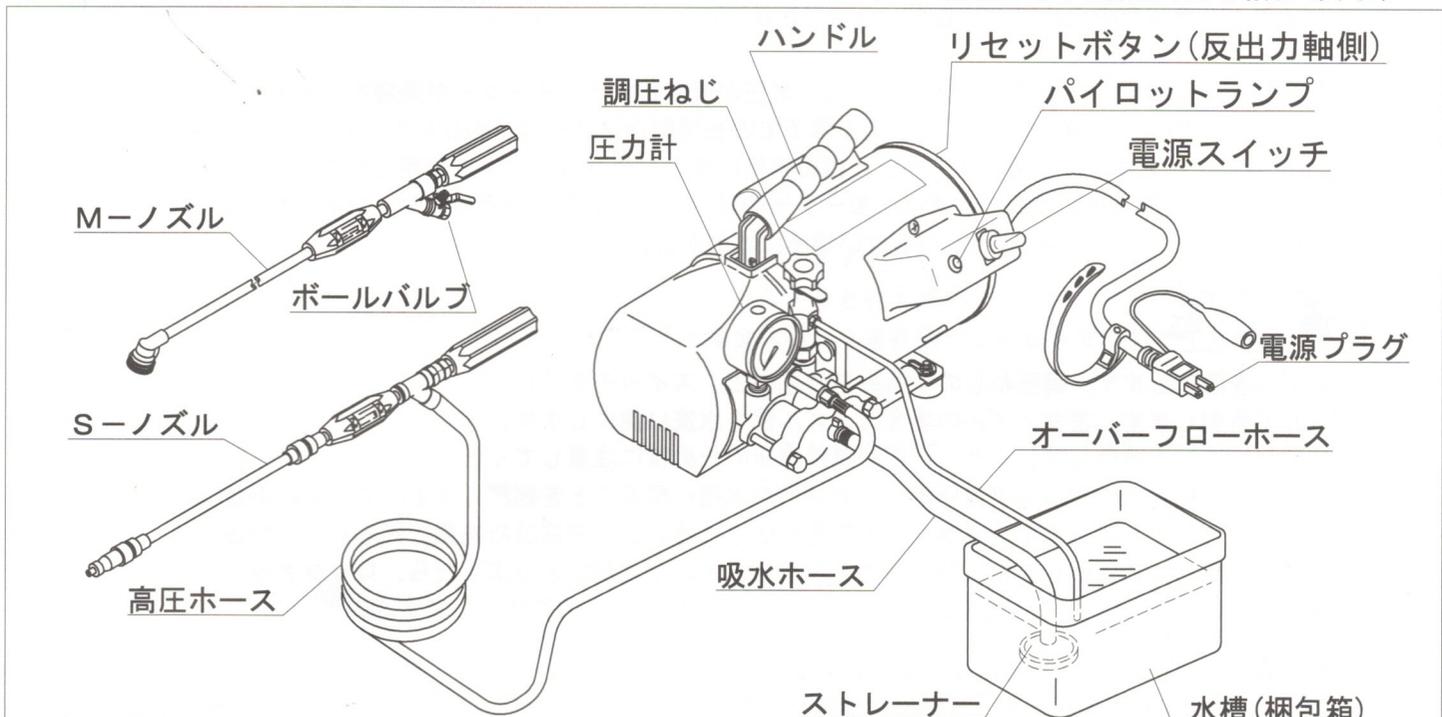
警告ラベル-1



警告ラベル-2

## 各部のなまえと付属品 (KYC-40A)

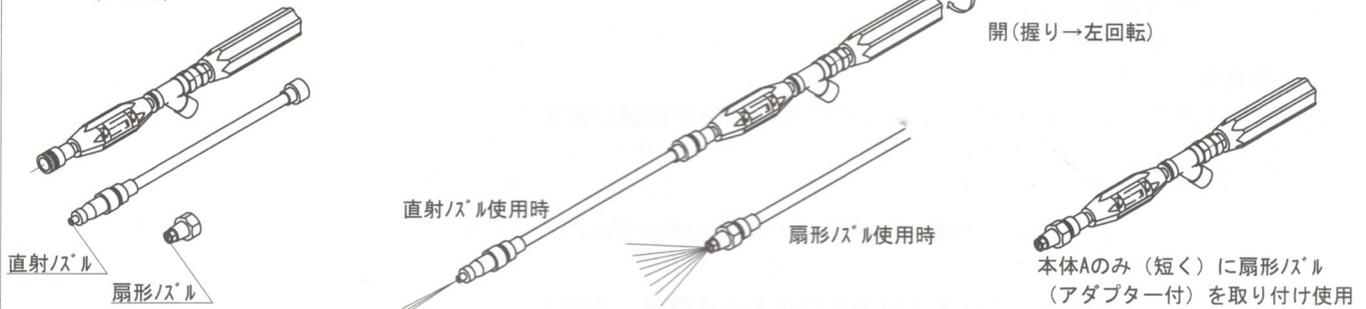
※仕様により付属品が異なる場合があります



(ノズルはいずれかの1本とします)

☆圧力計の中には振れ止めのグリセリンが入っています。

### ノズルの説明 (S-ノズル)

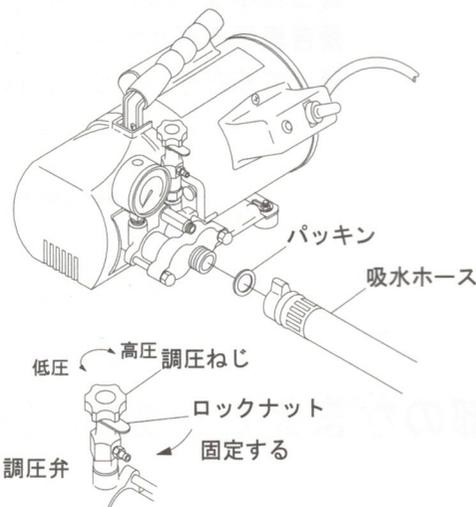


### (M-ノズル)



## 運 転 準 備

1. 吸水ホース、オーバーフローホース、高圧ホースを取り付けます。(8ページの説明図参照)  
吸水ホース、高圧ホースはパッキンの有無を確認の上、水漏れや空気を吸わないよう確実に締め付けてください。  
オーバーフローホースは接続部に差込みます。  
高圧ホースの先にノズルをとりつけます。
2. ポンプの調圧ねじを左に廻し、ゆるめておきます。  
始動時にポンプが即座に加圧しないようにするための作業です。  
又、加圧していますとモーターが始動しない時があります。
3. 吸水ホース(ストレーナー付)及びオーバーフローホースを水槽にいれます。両ホースをバンド等で固定してください。
4. 水槽はきれいにし、且つ使用水は清水を入れてください。
5. 電源コードをコンセントに差し込み、必ずアースを接続してください。  
パイロットランプの点灯により通電が確認できます。



### 注 意

- ・延長コード等をご使用のときは、電圧が低下します。モーターが焼損するおそれがありますのでご注意ください。(電圧降下での長時間連続運転は行わないでください)
- ・圧力を下げて使用するか、仕様の定格に合った延長コードをご使用ください。
- ・発電機をご使用のときは、モーターの標示を確認し容量の合った物を使用してください。

6. 雨または噴霧、洗浄水の飛散がかからない場所に本機を設置してください。

## 運 転

1. ノズルを開にします。調圧ねじのゆるみを確認の上、スイッチを「ON」にして始動します。左官ノズルの場合はノズル部を水洗い側にします。  
加圧状態にして始動しないこと。(モーター焼損防止のため特に注意してください)
2. ポンプを運転してオーバーフローホースより水が水槽へ戻ることを確認します。戻らない場合は、スイッチを「OFF」にします。(ポンプの空運転はさけること)不調診断を見て対応してください。
3. ノズルを閉じて調圧ねじを右に廻し圧力を設定します。圧力が定まりましたら、ロックナットにて調圧ねじをロックします。左官ノズルの場合はノズル部を停止の位置にします。

### 注 意

- 加圧状態にて始動しないでください。  
スイッチを入れるときは必ず調圧ねじをゆるめてください。

## 作 業 開 始

1. ノズルを開きます。  
左官の場合は噴霧にします。  
水は勢いよく噴出されこのエネルギーを利用して洗浄又は噴霧作業を行います。  
ノズルの使用方法は、8ページのノズルの説明の項を参照願います。



## 作 業 終 了

1. 吸水ストレーナーを空気中に上げ、ホース・ノズル・ポンプ内の水抜きをします。冬季の凍結防止のために実施します。
2. ポンプの手入れをして次回の作業が円滑にできるよう整備、清掃を行います。
3. ケースに保管されるときは、ポンプと付属品の水気は完全に切ってください。  
※ 結露及び残水により、モーター一部が漏電する恐れがあります。

### 注 意

1. 清水に微粒子の混入の無いようご注意ください。圧力が上がらなくなります。
2. 冬季の凍結に注意してください。
3. ホースジョイント(部品No.36)はふさがないでください。故障の原因となります。

# 整備のしかた (KYC-40A)

## 吸水弁の分解整備

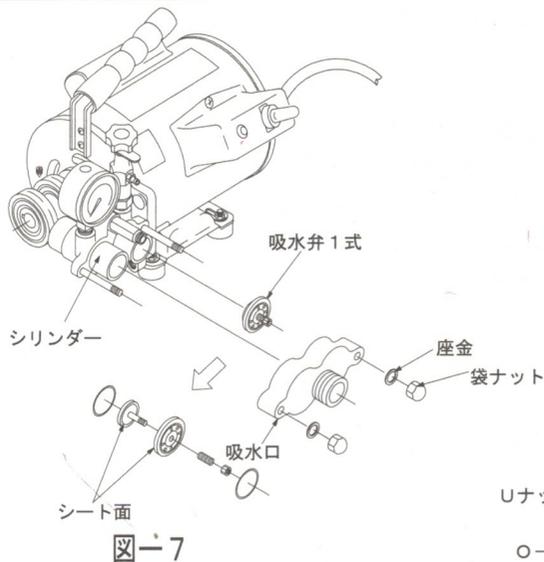


図-7

1. 吸水口前面の2コの袋ナットをはずして、吸水口と吸水弁1式を取り外してください。
2. 吸水弁内部にゴミ等が噛んでいる時は除去し、弁・弁座のシート面にキズや摩耗があれば、新品と取り替えてください。
3. 吸水弁1式は図-7の様に分解できます。
4. 吸水弁を組み立て時、図-8の様に指で開閉し、リフトを点検してください。

**注意** Uナット (M5) は必ず下図の様に止めツメのない面から入れてください。

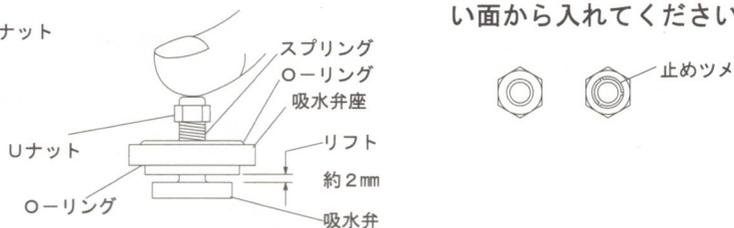
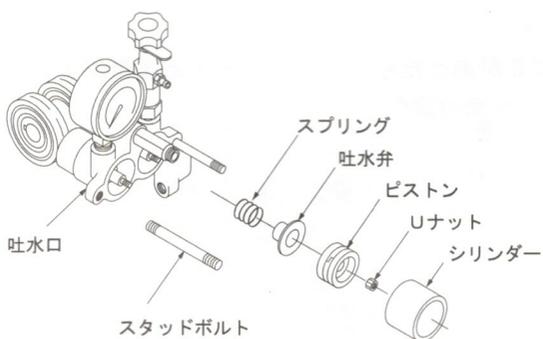


図-8

## シリンダー・ピストン・吐水弁の分解整備

シリンダーを引き抜いてください。ピストンが露出します。ピストン中央部のUナット (M6) を外し次にピストン・吐水弁を順番に外します。シリンダー内面、ピストンと吐水弁のシート面にキズや摩耗等がないか確認してください。シリンダーの内面にキズがある場合は図-9を参照して新品と交換してください。



ピストンの溝に入っているピストンパッキンは下図のように外してください。

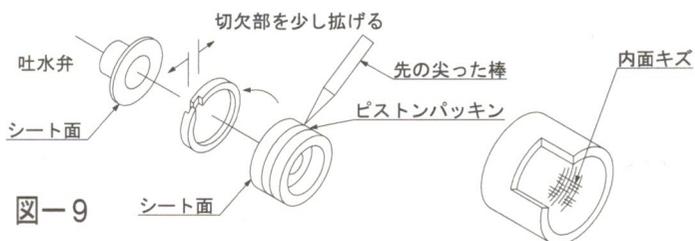


図-9

先の尖った物でピストンパッキンのスリット部を上げて取り外してください。取り付けする場合はスリット部を少し上げ、ピストンの溝にはめ込みパッキンの周囲を指で押さえ込んでください。

(注) パッキンを上げすぎないでください。

## 吐水口の分解・Uパッキンの整備

ポンプカバーを外し、吐水口の2本の取り付けボルト (M8) をモーターより取り外し吐水口をプランジャーから引き抜き、ガイドリング・O-リング・スペーサーリングを外します。Uパッキン交換の装着時リップの方向に注意してください。(図-7~図-10参照)

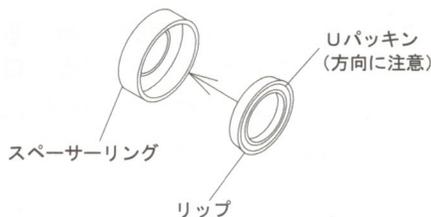
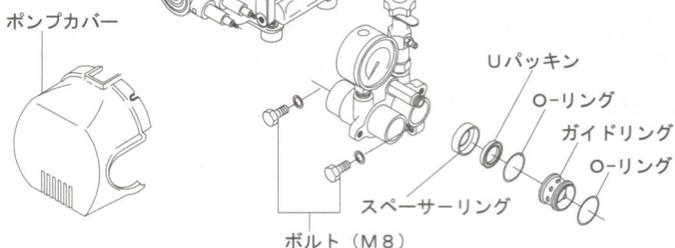


図-10

## プランジャー及びコンロッドの分解

1. モーター側に残ったプランジャーとコンロッドはピンによって連結しています。M8セットボルトをレンチでゆるめて、プーリ抜き工具の爪をコンロッドに引っかけて締め出してモーター軸から外してください。

2. プランジャーの大径端面の2本のM4セットボルトをレンチでゆるめてピンを抜くとプランジャーは分離します。
3. コンロッドの小径側のブッシュメタルが摩耗しピンと、ガタがあれば交換してください。  
(下図参照)

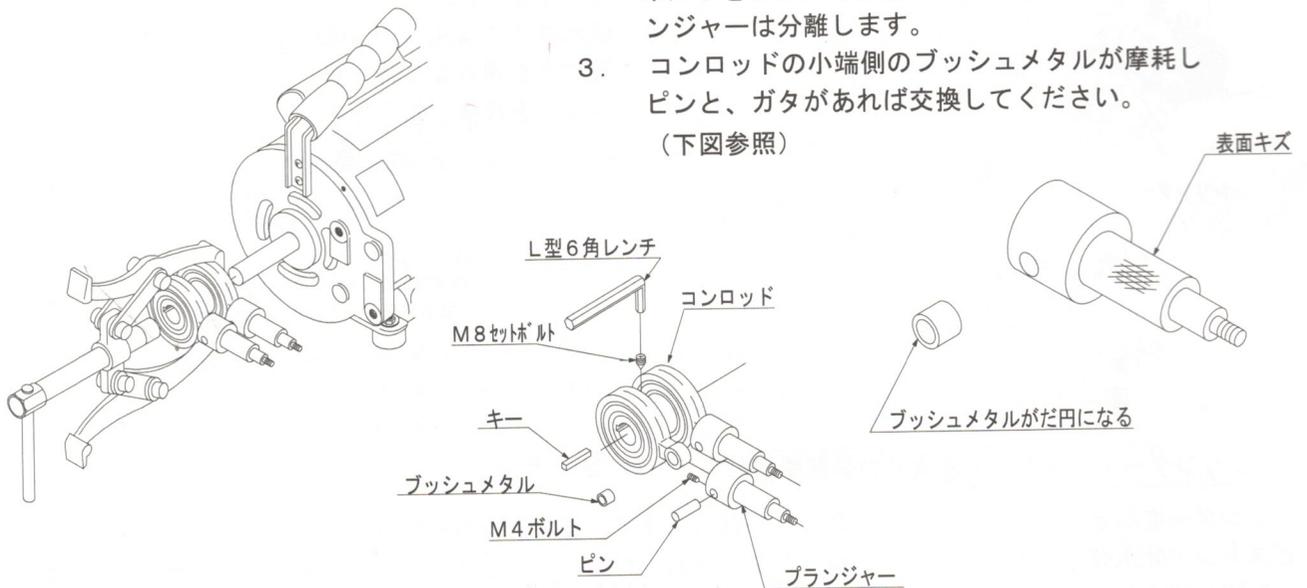


図-11

## 調圧弁の分解と点検整備

吐水口上部にある調圧弁は内部のバルブシートとバルブにゴミがあったり摩耗してきますと圧力が上がらなくなりますので、分解し洗浄又は交換してください。

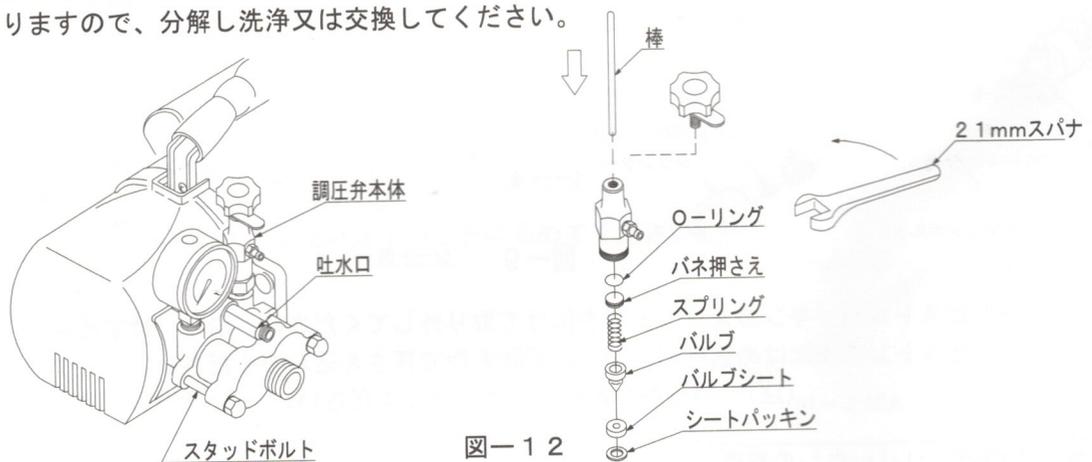


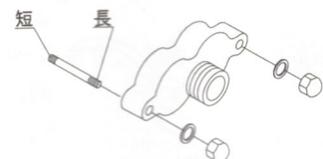
図-12

調圧弁をポンプ吐水口より外し上部の調圧ねじを外しねじ穴よりφ4～5程度の棒状の物で押すと内部の部品は外せます。調圧弁をポンプ本体より外した時、シートパッキン・バルブシートはポンプ本体側に残ります。

バルブとバルブシートに摩耗やキズがないか確認してください。  
バルブシートは裏表が使用できます。表面に摩耗や傷がある場合、裏返して組み込んでください。

(注) スタッドボルトを外し再び取り付ける場合はねじ足の短い方を吐水口にしてください。  
吸水口を取り付けるときは必ず吸込口を下にして取り付けてください。(上図参照)

摩耗のおびたばしいパッキン類や弁、ベアリングは新品と交換してください。ページ15のパーツリストで部品番号を調べてください。



## 不調診断と対策

◎印は、使用される方が行ってください。(13ページ参照)

対策 項目の

●印は、お買い上げになった販売店、又は修理技術のある方が行ってください。

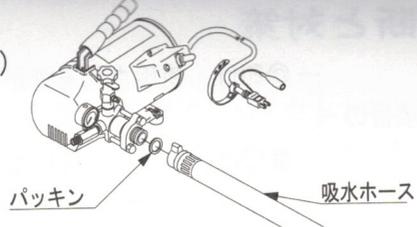
状 況	原 因	対 策
(1) 水を吸わない	イ. 吸水ホースの締付不完全かパッキンの脱落 ロ. 吸吐水弁の固着  ハ. 空運転したためシリンダー内が加圧され吸水しない  ニ. ストレーナーの全面にゴミが付着している ホ. 水槽水面位がポンプ位置から低過ぎる(吸水ホースを継足した場合等)	◎ イ. パッキンを入れ、しっかり締める ◎ ロ. モーター上部の注意ステッカー参照 水道水をポンプの吸水口と直結して圧力水を送入する  ◎ ハ. 調圧ねじをゆるめるか高圧ホースを外して余分のエアーを排出させて水が出るのを待つ ◎ ニ. ストレーナーを清水にて洗浄すること ◎ ホ. 水槽位置を上げるかポンプを一旦さげてください
(2) 圧力が上がらない	イ. 調圧弁の不調 ロ. 弁にゴミが付着している ハ. ピストンパッキン又はシリンダーが摩耗している ニ. ノズルの穴が摩耗して大きくなっている	● イ. 分解して点検 弁及び弁シートが傷んでいれば交換 ● ロ. 分解してゴミを除去する ● ハ. 分解して交換する ◎ ニ. 適合した穴径のノズルと交換する
(3) 圧力が変動する(吸水ホース、高圧ホース等が大きく振動する)	イ. 空気を吸っている ロ. 弁又は弁シートに傷があるかゴミが付着している ハ. 調圧弁の弁及び弁シートにゴミがつかまる又は傷んでいる	◎ イ. 吸水ホースをしっかり締め付ける(パッキンの有無を確認) ● ロ. 吸水弁、吐水弁の点検、掃除及び交換 ● ハ. 掃除及び交換する
(4) 圧力が途中で低下し復元しない、ホースが振動する	イ. 吸水していない(ストレーナーにゴミが付着している) ロ. 調圧弁の不調 ハ. 水槽内の水が不足している	◎ イ. ストレーナーの網の目の掃除をする ● ロ. 調圧弁の分解掃除をする ◎ ハ. 水を補給してください
(5) モーターが始動しない	イ. 配線時の接続不良 ロ. パイロットランプが点灯していない ハ. コンセント不良 ニ. 定格圧力以上になっている ホ. 電源電圧の低下 ヘ. モーターが、ポンプに異常負荷がかかって保護器が働いて電流をストップした (注) この場合は必ず電源のコンセントを一旦外してください	● イ. スイッチ及び電源コンセントの結線点検 ● ロ. 接続部の点検、ランプの点検 ◎ ハ. 別のコンセントにてテストを試みる ◎ ニ. 圧力調節ねじをゆるめる 5/9ページの運転準備2項を参照してください ● ホ. 5/9ページの運転準備の注意事項を参照してください ● ヘ. 過負荷保護器が働いたらスイッチをOFFにして原因を取り除き2~3分経過後リセットボタンを押して起動してください

## 不調時の対策 (抜粋)

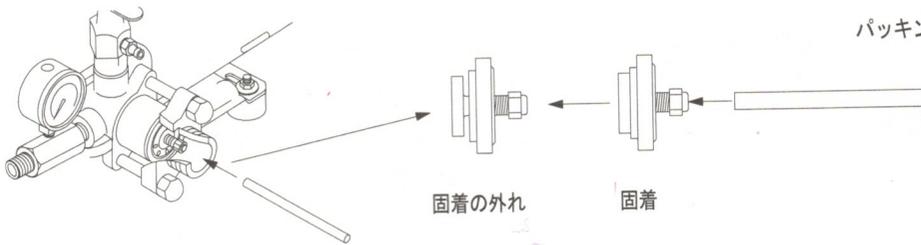
(イ) 吸水ホースの締め付け不完全かパッキンの脱落 (右図参照)

(ロ) 吸吐水弁の固着

- 1) 木またはプラスチックの棒状のものでポンプの吸水口から、  
吸水弁を押して吸水弁の固着を外す。(20Aのみ)



パッキンの有無を確認の上、しっかり締める。



- 2) 吸水ホースのストレーナーを外して水道につなぎ、手で押さえ  
ポンプのスイッチを入れて水を出しながら運転して水道水の圧  
力で吸水弁の固着を外す。

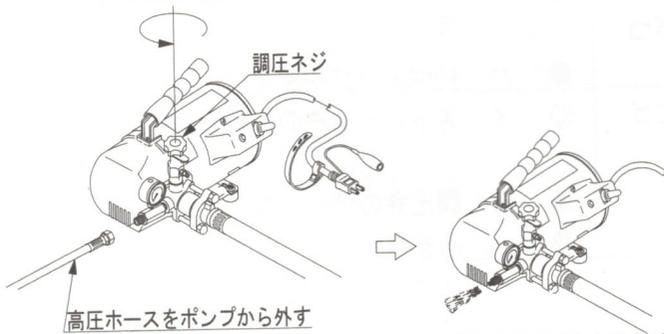
水道との接続部から水が漏れるとき  
布等で押さえる。



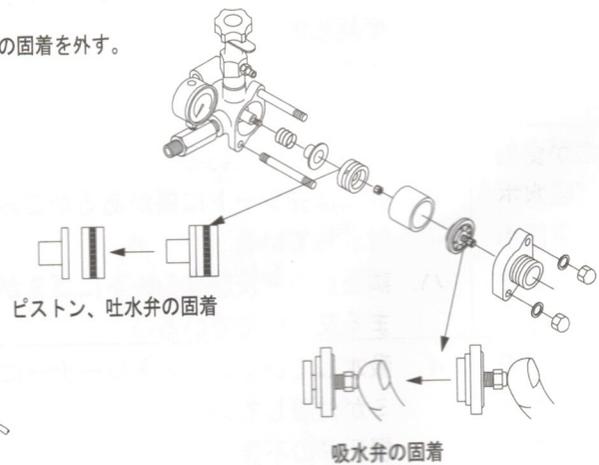
- 3) 右下のようにポンプを分解し、吸水弁及びピストン・吐水弁の固着を外す。  
固着部が外れたら、元のように組み立てる。

(ハ) 空運転したためシリンダー内が加圧  
され吸水しない

調圧ネジをゆるめる



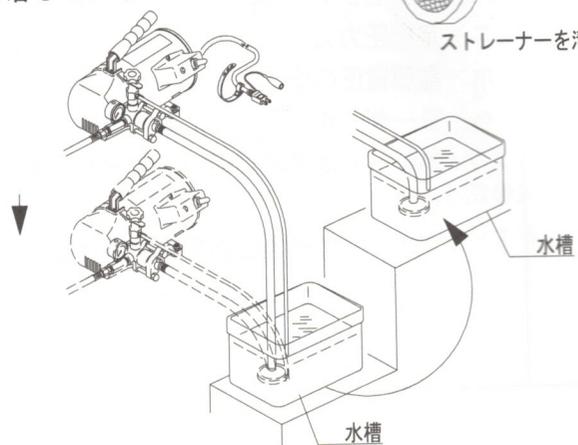
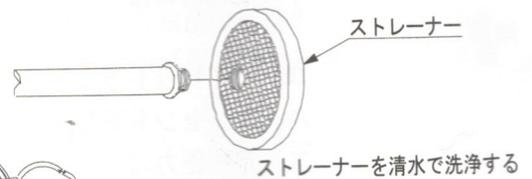
空気が排出された後水が出るのを待つ



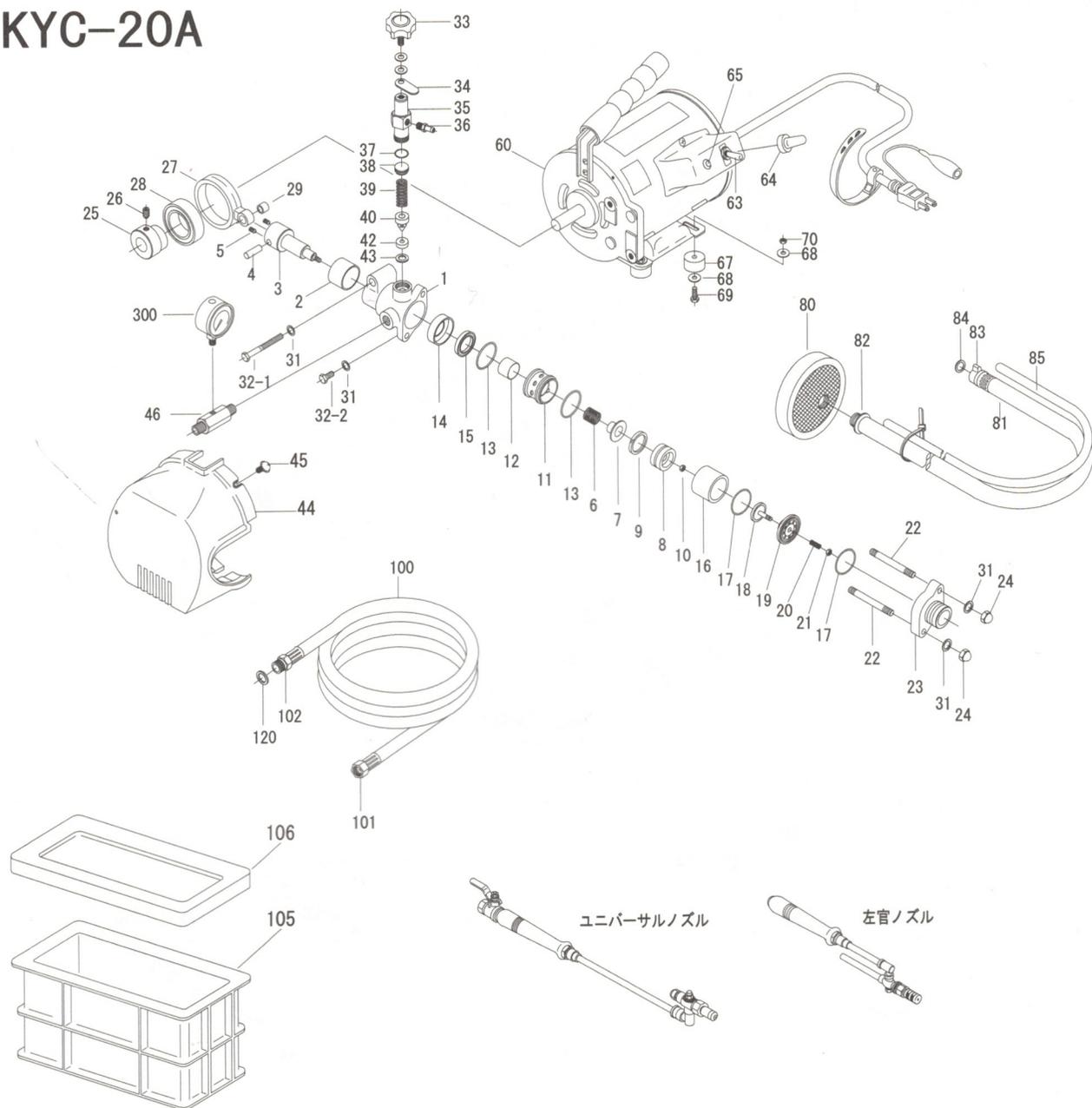
(ニ) ストレーナーの全面にゴミ、水アカ等が付着している

(ホ) 水槽水面がポンプ位置から低すぎる

水槽位置を上げるかポンプを一旦下げて  
ください



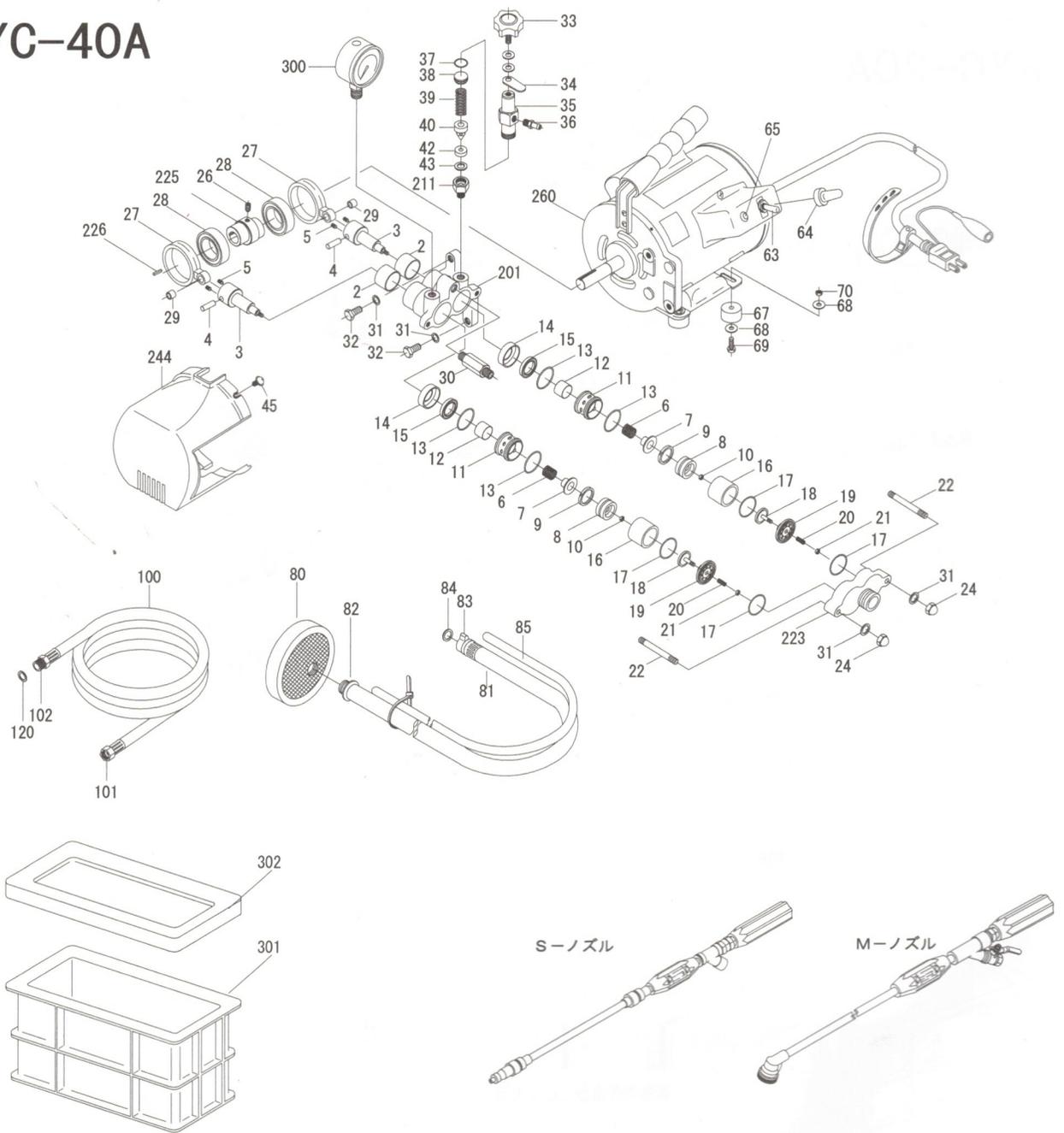
# KYC-20A



※仕様により付属品が異なる場合があります

図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数
1	吐水口	1	21	U-ナット M5	1	43	シートパッキン	1	101	ホースカップリング(メ)	1
2	ブッシュ(大)	1	22	スタッドボルト	2	44	ポンプカバー	1	102	ホースカップリング(オ)	1
3	プランジャー	1	23	吸水口	1	45	ボルト・ワッシャー付	3	120	パッキン(大)	1
4	ピン	1	24	袋ナット	2	46	本体ゲージ台	1			
5	ピン締付ボルト	2	25	偏芯カラー	1	60	モーター 100V-200W	1	105	水槽	1
6	スプリング	1	26	ボルト	1				106	水槽フタ	1
7	吐水弁(SUS)	1	27	コンロッド	1						
8	ピストン	1	28	ボールベアリング	1	63	スナップスイッチ	1		ユニバーサルノズル	1式
9	ピストンパッキン	1	29	ブッシュメタル	1	64	キャップ	1			
10	U-ナット M6	1	31	バネ座金	2	65	パイロットランプ	1		左官ノズル	1式
11	ガイドリング	1	32-1	ボルト(長)	1						
12	ブッシュ(小)	1	32-2	ボルト(短)	1	67~70	防振ゴムセット	4			
13	O-リング(S-28)	2	33	調圧ネジ	1	300	圧力計 φ50×7MPa	1			
14	スペーサー	1	34	ロックナット	1	80	ストレーナー	1			
15	U-パッキン	1	35	本体	1	81~84	吸水ホース(完成品)	1式			
16	シリンダー(SUS)	1	36	ホースジョイント	1	82	ストレーナー金具	1			
17~21	吸水弁Ass'y	1式	37	O-リング(P-7)	1	83	1/2ホースカップリング	1			
17	O-リング(S-25)	2	38	バネ押さえ	1	84	吸水ホースパッキン	1			
18	吸水弁	1	39	スプリング	1	85	オーバーフローホース	1			
19	吸水弁座	1	40	バルブ	1						
20	スプリング	1	42	バルブシート	1	100	高圧ホース(完成品)	1式			

# KYC-40A



※仕様により付属品が異なる場合があります

図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数	図番	部品名	個数
201	吐水口	1	211	調圧弁取付金具	1	42	バルブシート	1	300	圧力計 φ50×7MPa	1			
2	ブッシュ (大)	2	22	スタッドボルト	2	43	シートパッキン	1	100	高圧ホース	1			
3	プランジャー	2	223	吸水口	1	244	ポンプカバー	1	101	ホースカップリング(メン)	1			
4	ピン	2	24	袋ナット	2	45	ボルト・ワッシャー付	3	102	ホースカップリング(オン)	1			
5	ピン締付ボルト	2	225	偏芯カラー	1				120	パッキン (大)	1			
6	スプリング	2	226	キー	1				100	高圧ホース (完成品)	1			
7	吐水弁 (SUS)	2	26	ボルト	1	260	モーター 100V-400W	1	301	水 槽	1			
8	ピストン	2	27	コンロッド	2	63	スナップスイッチ	1	302	水槽フタ	1			
9	ピストンパッキン	2	28	ボールベアリング	2	64	キャップ	1						
10	U-ナット M6	2	29	ブッシュメタル	2	65	パイロットランプ	1						
11	ガイドリング	2	30	吐水長ニップル	1	67~70	防振ゴムセット	4		S-ノズル	1式			
12	ブッシュ (小)	2	31	バネ座金	4					M-ノズル	1式			
13	O-リング (S-28)	4	32	ボルト	2									
14	スペーサー	2	33	調圧ネジ	1	80	ストレーナー	1						
15	U-パッキン	2	34	ロックナット	1	81~84	吸水ホース (完成品)	1式						
16	シリンダー (SUS)	2	35	本 体	1	82	ストレーナー金具	1						
17	O-リング (S-25)	4	36	ホースジョイント	1	83	1/2ホースカップリング	1						
18	吸水弁	2	37	O-リング (P-7)	1	84	吸水ホースパッキン	1						
19	吸水弁座	2	38	バネ押さえ	1	85	オーバーフローホース	1						
20	スプリング	2	39	スプリング	1									
21	U-ナット M5	2	40	バルブ	1									